



シルバー人材センター通信

平成26年

第31号

1月25日発行

# みなみえちぜん

迎春



新雪に輝く日野山

発行・編集：公益社団法人 南越前町シルバー人材センター広報委員会  
住 所：福井県南条郡南越前町今庄第84号24番地の1  
TEL.0778-45-1102 FAX.0778-45-1851

E-mail : [minamiechizen@sjc.ne.jp](mailto:minamiechizen@sjc.ne.jp) URL : <http://www.sjc.ne.jp/minamiechizen/>

会員の状況 [12月末現在]

総会員数 287名

男性会員 139名

女性会員 148名

「安全は 一声かける 中とりから」



# 新年のごあいさつ

理事長 嶋崎 洋

あけましておめでとうございます。  
会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、当センターの事業運営に多大のご支援、ご協力を賜りありがとうございます。

さて、当町においては65才以上の高齢者は39%と年々少

子高齢化が進行しております。このように高齢化が進む中で、福祉の受け手でなく、地域の担い手として、活力を維持していくために、就労意欲と能力のある高齢者が、年齢に関わりなく働ける「生涯現役社会」の構築が必要であります。高齢者の多様な就業機会の確保、生きがい創出、活

力ある地域づくりに多大な貢献をしているシルバー人材センターの果たす役割は益々重要なものとなっております。「自主・自立・共働・共助」の基本理念もと会員一人ひとりが「元氣よく」「仲良く」「楽しく」を合言葉に生きがいの充実を図り、町民から信頼され、喜ばれる人材センターとして安全就業を最重点に元氣で活躍されますようお祈り申し上げます。



# 新年のご挨拶

南越前町長 川野 順万

あけましておめでとうございます。  
皆様方には、輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年2月皆様方の力強いご支援とご理解で二期目の町政を担当させていただくこととなり、心新たにスタートをいたしましたところで、各種事業をはじめ町政全般にわ

たり温かいご支援とご協力を賜りましたこと、衷心より厚くお礼を申し上げます。

団塊の世代と呼ばれる方が65才を迎え、今後益々人口減少と併せて高齢化社会が進行し、人口構造や社会構造が大きく変化する中で、活力ある地域社会を維持するためにも高齢者の方々が健康でいきいきと暮らせることが大切で、

シルバー人材センターが担う役割はますます重要となつてきます。このような中で、合併10年の節目の年を迎えることとなります。今後も「元氣よく」「仲良く」「楽しく」を合言葉に会員の皆様が手を携え活躍できる場となりますとともに、日頃の活動が地域の活力となるよう願うものです。町といたしましては、時代に合った福祉の施策に取り組みでまいります。

**元氣な年男・年女の一言**  
中小屋 高橋 定次さん(83)  
戦中戦後の苦しい生活環境に育ち、先人達の築き上げた技術のおかげで、裕福な社会になったにも関わらず、まだ満足しない世論に淋しさを感じる。生きがいとは何か考えてみたとき、「花びらは散っても花は散らず人は去っても面影は去らず」のお坊さん教えを教訓に、心身ともに健康なのは勿論、午年生まれの宿命か働き馬の如く生かされた命を大切に、感謝しつつ、シルバーの会員として社会貢献に努力していきたいです。

今庄 森川 修子さん(71)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

早いもので入会して三年の月日が流れ、その間皆様から仕事を通して色々とお教わりしました。仕事の日は早朝より喝を入れ気分をシャキッとそして出かけます。シルバーになつても働かせて貰える喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。6度目の午の干支が巡って来ましたが、これからも心身とも健康に注意して「氣は長く・心は丸く・腹立せず」をモットーに過ごして行きたいと思っておりますのでよろしくお祈りします。

# 謹賀新年

- 理事長 嶋崎 洋
- 副理事長 上島 信敬
- 理事 飯田 春樹
- 理事 板本 忠士
- 理事 勝見 勝彦
- 理事 杉本 佳子
- 理事 田中 せつ子
- 理事 堂下 富美子
- 理事 中野 利雄
- 理事 中村 収
- 理事 橋本 登龍
- 理事 藤井 彦四郎
- 行政担当理事 北野 徹
- 監事 安川 清太郎
- 監事 山本 雄治
- 常務理事兼事務局長 井上 英之
- 事務局職員 海 岸 満
- 関 洋子
- 山本 和美

本年も何とぞよろしく  
お願いいたします

好評だった  
リサイクルショップ

9月28日開催されたシルバーフェスタで、当センターは、リサイクル品(浴衣地や帯地を活用)コーナーを設置。会員手作りの帽子や小物入れ、エプロンが展示即売されました。価格も手ごろで作品はどれも実用向きとあって、購入者はその出来栄えに満足していました。

これらの生地は町内有志の方からお譲りいただきリサイクルしました。  
不要になった着物や浴衣などの生地を再利用することで、資源の削減や環境保全にも役立ちます。これからも活動を広めていきたいと思っております。



お天気に恵まれた  
平泉寺白山神社ハイキング

秋の健康教室は、会員38名が参加し交流を深めました。当日は朝からぐずつき模様のお天気で、実施が危ぶまれましたが、程よいハイキング日和となりました。

平泉寺では観光ボランティアガイドの協力で発掘跡の説明を受け、歴史的な遺産価値を再認識しました。近くの福井県恐竜博物館へも足を延ばしました。恐竜館施設の充実がりに感謝。  
常設展については70歳以上無料が入館できます。  
(11月19日実施)



湯尾峠と孫嫡子神社

湯尾峠は南越前町今庄と湯尾の間、東の三ヶ所山と西の八ヶ所山の鞍部にある標高二〇〇mの峠で古代より北陸と京都を結ぶ要衝であった。江戸期には四軒の茶屋があり、孫嫡子のお守り札を配布していた。

大宝元年(七〇二)、湯尾峠に茶屋を営む老夫婦が子どもがいらないのを嘆き、旅の途中の修験道の祖役小角に子どもが授かるよう頼んだ。  
如意輪観音の神呪を授け唱え祈ったところ、ほどなく、十五六才の娘が鍋を一つさげ道に迷って、老夫婦の前にあらわれた。  
娘はいつも飯米を工面してきたので、鍋倉と名付けられた。その年の大晦日十七才ぐらゐの青年が一夜の宿を乞うた雪が降りやまず、数日滞在するうちに二人は結ばれ子どもが生まれた。



青年は光明童子であると身分をあかし不老長生の神方秘薬と聖如意輪観音像を与え藤倉山に姿を消した。  
生まれた男の子を、老夫婦は「孫嫡子よ」と可愛がって育てた。十四の時母も鍋倉山に姿を消した。  
鍋倉も阿弥陀如来の化身だった。  
孫嫡子が十七才の時、奈良東大寺で出家受戒し、修行後、藤倉山に帰り父(光明童子)の形見の観音像を奉じて御堂を建て、多くの旅人たちの病を癒した。孫嫡子神社は、昔から天然痘を癒す神社として有名である。

今庄の歴史探訪より



# お友達を会員に お誘いください

団塊の世代が定年を迎えるこの時期、入会者数の増加を期待していましたが、思うように入会者数が伸びて来ません。会員各位の入会促進についてのご協力、情報提供をお願いいたします。

## 会員数の推移

区分	22年	23年	24年	25年
男性	147	143	144	139
女性	161	164	158	148
合計(人)	308	307	302	287

平成25年は12月末時点の会員数。現在の会員平均年齢は71歳。高齢社会を支える大きな力。シルバー人材センターに活力を持たせましょう。

## 新入会員のご紹介

- 下新道 阿津川 昭文さん
- 小倉谷 山崎 孝一さん
- 上野 田島 義美さん
- 以上 3名の皆さん

【8月から12月までの加入者】

よろしくお願ひ  
いたします。



## お知らせ

### INFORMATION

## 第4回会員のつどい開催

会員の交流を目的に左記の日程で開催いたします。

●開催日時 平成26年2月14日(金)

午前10時より

●開催場所

南条保健福祉センター多目的広場

●開催内容 冬場の運動不足解消

フォークダンス・歌声喫茶

昼食は体が温まる「なべ」

## 理事会報告

### 第2回理事会 (7月25日開催)

#### 審議事項

- ① 会員の入会承認について
- ② 定款の一部変更について
- ③ 役員慶弔規程の一部変更について
- ④ 委員会規程の一部変更について
- ⑤ 固定資産の処分について
- ⑥ 一般労働者派遣事業所の開設について

#### 報告事項

- ① 事業の進捗状況
- ② 地区懇談会の開催状況報告
- ③ 委員会報告 (安全・広報・就業)

### 第3回理事会 (10月25日開催)

#### 審議事項

- ① 会員の入会承認について
- ② 平成25年度9月末事業報告及び収支決算報告、監査報告について
- ③ 平成26年度公共・公社における就業単価の設定について

#### 報告事項

- ① 認可外保育施設検査結果
- ② 発注者よりの満足度調査
- ③ 健康教室開催
- ④ 職員研修実施報告

### 第4回理事会 (12月18日開催)

#### 審議事項

- ① 会員の入会承認について
- ② 平成26年度事業計画、収支予算について
- ③ 平成26年度主要行事予定について
- ④ 平成25年度予算補正について

#### 報告事項

- ① 委員会報告 (安全・広報・就業)
- ② 健康教室開催経過報告
- ③ 年末・年始対応
- ④ 職員研修経過報告

## 編集後記

### 料理を楽しく・ボケ防止

夕食は、みんなで喜んで頂きたくてレパトリーを増やすため、頼れるレシピブックなどを読み、メモを取る。

体によいものと、年寄には煮しめ、若い者や子供には、ステーキなどの肉料理のアレンジで野菜をなるべく多く取り入れ使用し色彩も工夫し、ボケ防止にも役に立つかと考えながら、ルンルン気分です。早めの食事の支度。

「サクッと今日も頑張るゾー」と仕事の合間に考えた献立のメモを開いて、材料・調味料の準備、サッサと洗って、ナガタンでトントン、炒めて、調味料を入れ、これでOK！出来上がり！味抜群です。

年老いたと思わず何にでも挑戦しましょう！

(広報委員 加茂さん)

